

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	だんだんのへや		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年12月8日 ～ 2025年12月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員とご家族とのコミュニケーションや活動を通してのご利用者様との関わりが充実していることが事業所の強みだと考えられます。入浴支援がないので療育の時間をしっかりと確保できおり、放課後の短い時間のなかでも集団での活動、個別の課題と分けて取り組むことができます。	プログラムが被らないように行事も取り入れながらレクリエーションの提供を行っています。季節の飾りつけについても様々な手法を取り入れながらご利用者様と一緒に創作できるように工夫をしています。	事業所内だけで完結するのではなく、ご家族がお迎えに来られた際に子供と一緒に楽しめるイベントも考え、より充実した活動の提供を検討していきます。
2	ハード面が充実しており、給食の提供やLINEでの情報共有を行うことができます。また、特養と同一敷地内ということで夏祭りや水族館、敬老の日と一緒にイベントを楽しむことができます。	手触りや音など五感を刺激しながら活動に参加できるように心掛けています。また、ご家族や学校と情報共有を行いながら方向性を擦り合わせ、ひとつでもできることが増えていけるように取り組んでいます。	発達段階や学校での取り組みも踏まえながら、事業所としての独自の目標をさらに事業所でできることをご家族に提案できるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービス提供時間が放課後17時、学校休業日が15時30分とお仕事をされているご家族としては短い時間設定となっています。	人員確保や安定した運営のために現在のサービス提供時間となっていますが、可能な範囲内での見直しや検討は必要だと考えています。	学校休業日について放課後と同じサービス提供時間に変更を検討したいと思います。変更したうえで安定したサービスが提供できるように体制を整えていく必要があります。
2	新しい事業所ということでマニュアルはあるが事例がなかったり、経験が不足していると考えられます。	食物アレルギーや安全計画などのマニュアルは整備しているが実施したことがないものも多く、検証が不足しています。	日々の受け入れの中で一つずつ取り組み、検証しながらPDCAサイクルの中でより良い支援、運営に繋げていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		だんだんのへや					公表日	2026年1月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートでの意見に対して迅速な対応を行った。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		ISOを今年度より中止している。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			来年度以降、法人全体での研修も検討している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		重症度の高いご利用者が多く、アセスメントが難しい部分が多く。アセスメント様式の改善が必要。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○						
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		ただいまの会など全体で行う活動と個別の課題に取り組んでいる				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		シフトによって支援開始前に毎回打ち合わせは行っていないが支援前後にて気付いたことについては共有をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			小学部1年生がおらず、移行等でのやり取りがなかった。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		基幹相談支援センターを通じることが多い。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者の会への参加することはあるが回数は多くない。事業所として参観日や懇談会の企画を行っているがきょうだいとの交流は行っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりの配布や安全計画の周知を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		法人としては取り組んでいるが、事業所としては行っていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			保護者に対しても安全計画を通じて周知しているがマニュアルの細かい部分についてまで周知できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		マニュアルはあるが実際にアレルギーがあるご利用者様はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
非常時等の対応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			